

2016年5月期 決算説明会

2016年7月25日(月)

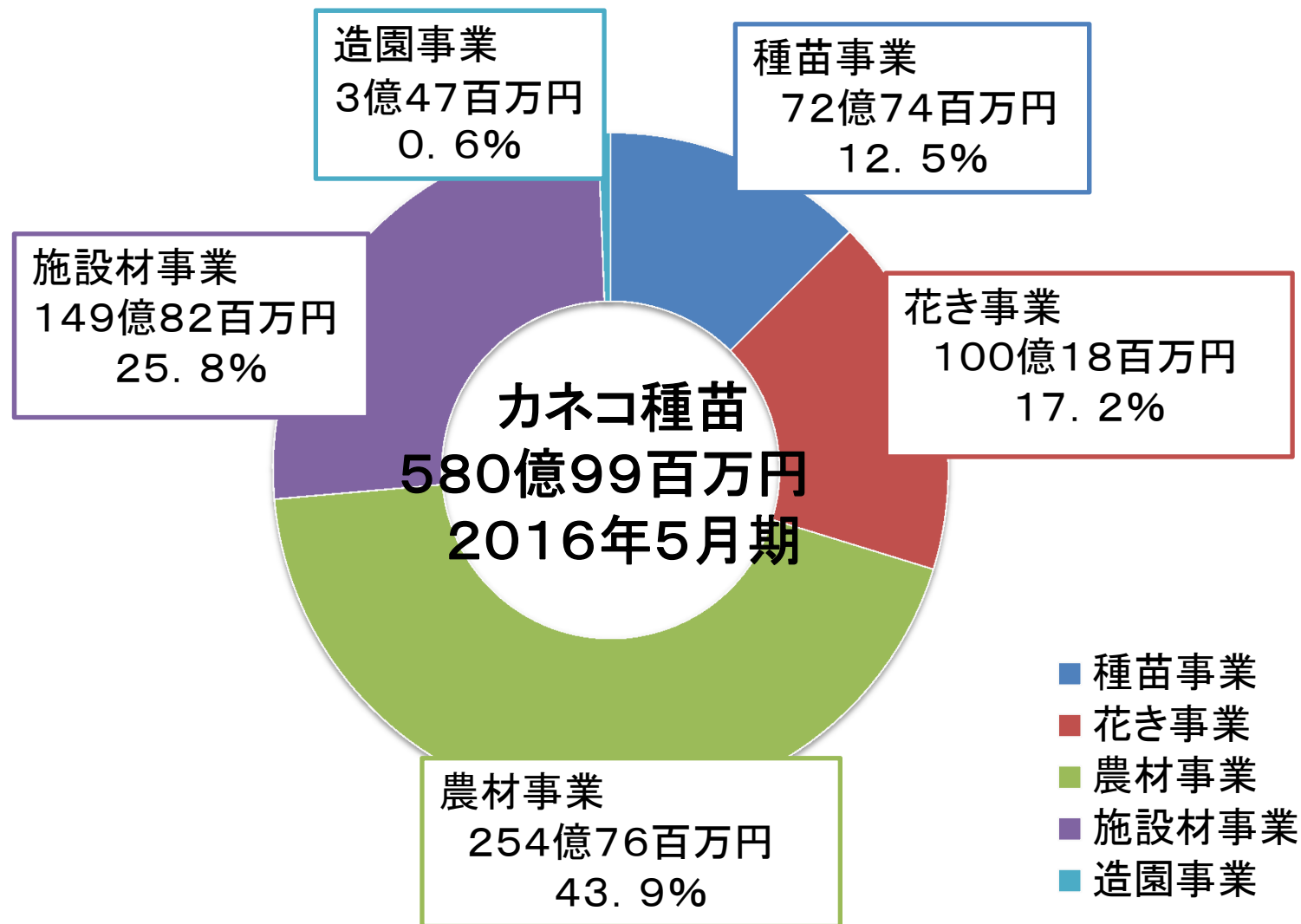


<http://www.kanekoseeds.jp/>

証券コード: 1376

決算概況

連結売上のセグメント別構成比



決算ハイライト

【売上高】

- ・580億99百万円(前年同期比1.2%減)
- ・施設材事業の業績が前期を下回ったことにより売上高が減少

【営業利益】

- ・21億44百万円(前年同期比0.1%増)
- ・施設材事業の落込みを種苗事業や農材事業が順調に推移したことなどでカバーし微増

【経常利益】

- ・22億81百万円(前年同期比0.3%増)
- ・営業利益の増加に伴い経常利益も微増

【親会社株主に帰属する当期純利益】

- ・14億65百万円(前年同期比7.2%増)
- ・経常利益の微増に加え、法人税率引下げの影響などから増益となり、**過去最高益**となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	14/5月期	15/5月期	16/5月期	前期比
売上高	56,505	58,781	58,099	△681
営業利益	1,811	2,143	2,144	+1
(営業利益率)	(3.2%)	(3.6%)	(3.7%)	—
経常利益	1,920	2,274	2,281	+7
(経常利益率)	(3.4%)	(3.9%)	(3.9%)	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,142	1,366	1,465	+98
(親会社株主に帰属する当期純利益率)	(2.0%)	(2.3%)	(2.5%)	—
1株当たり純利益(円)	97.29	116.39	124.83	+8.44

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、当連結会計年度より、「当期純利益」を「親会社株主に帰属する当期純利益」としております。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	14/5月期	15/5月期	16/5月期	増減
流動資産	32,851	35,817	34,909	△907
固定資産	7,922	8,270	8,277	6
資産合計	40,773	44,088	43,186	△901
流動負債	25,260	27,192	25,077	△2,115
固定負債	1,508	1,451	1,911	+459
負債合計	26,769	28,644	26,988	△1,655
純資産合計	14,003	15,443	16,198	+754
負債純資産合計	40,773	44,088	43,186	△901
自己資本比率	34.3%	35.0%	37.5%	+2.5%

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	14/5月期	15/5月期	16/5月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,278	1,268	2,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△301	△215	△208
財務活動によるキャッシュ・フロー	△771	△695	△607
現金及び現金同等物の増減額	204	356	1,526
現金及び現金同等物の期末残高	2,008	2,365	3,891

営業活動によるキャッシュ・フロー	仕入債務(14億80百万円)が減少したことや法人税等(8億95百万円)を支払うなどで資金を使用したものの、税金等調整前当期純利益(22億70百万円)の計上及び売上債権(19億78百万円)、たな卸資産(1億92百万円)が減少したことなどにより資金を獲得したことや、減価償却費(2億22百万円)を計上したことなどにより、23億42百万円の資金を獲得いたしました。
投資活動によるキャッシュ・フロー	有形固定資産の取得による支出(2億18百万円)などにより2億8百万円の資金を使用いたしました。
財務活動によるキャッシュ・フロー	配当金の支払及び短期借入金の返済などにより6億7百万円の資金を使用いたしました。

セグメント別業績

セグメント別主要取扱商品

■ 種苗事業

野菜種子

牧草種子

ウイルスフリー種苗

■ 花き事業

花苗・家庭菜園用野菜苗

球根・花種子

家庭園芸用資材

■ 農材事業

農薬

被覆肥料

■ 施設材事業

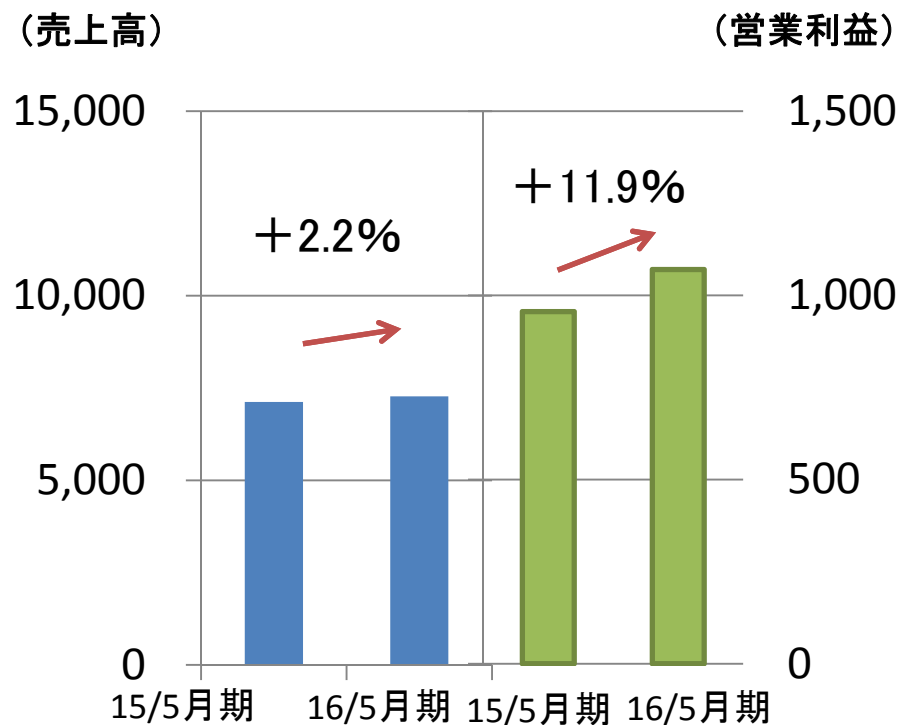
農業資材

温室・養液栽培システム

■ 造園事業

造園・法面工事

種苗事業



(単位:百万円)

	15/5月期	16/5月期	増減率
売上高	7,121	7,274	2.2%
営業利益	956	1,070	11.9%

【セグメント事業内容】

野菜種子や牧草種子、ウイルスフリー苗及び種イモの委託生産・仕入・販売を行っております。

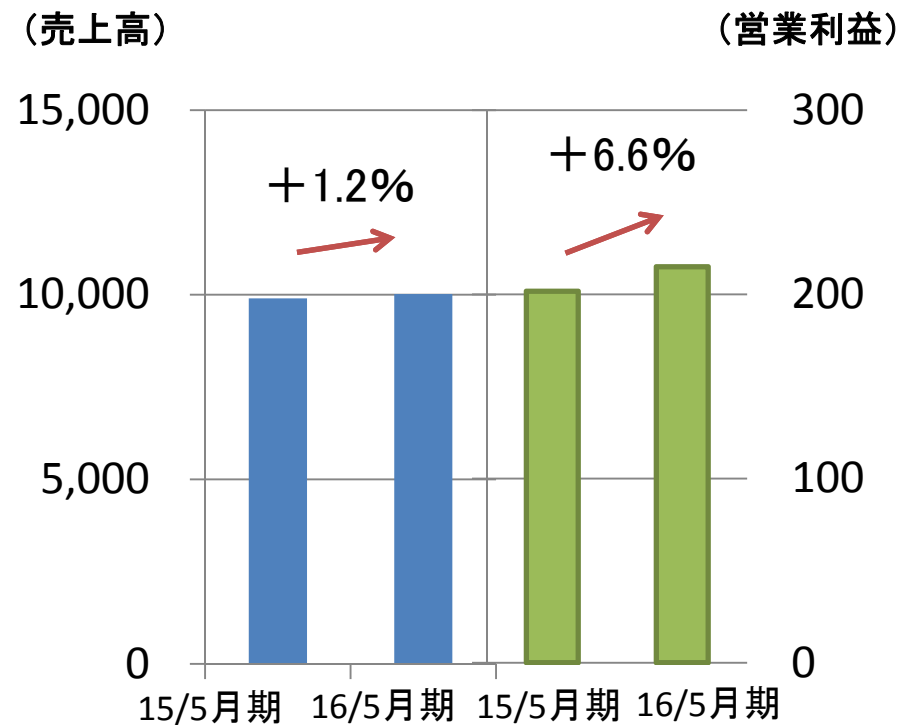
【業績】

売上高72億74百万円
前年同期比2.2%増加
営業利益10億70百万円
前年同期比11.9%増加

主な増加要因

- ・ 野菜種子関係では、輸出、国内販売とも売上高が増加
- ・ 輸出では、キャベツ、タマネギが、国内では、枝豆に加え、新品種が定着したカボチャ、レタスが伸長
- ・ 牧草種子関係では、緑化工事用種子の販売が低迷したものの、トウモロコシ、エン麦、イタリアンライグラス等の飼料用作物種子の販売が伸長
- ・ ウイルスフリー苗及び種イモ関係では、シルクスweetサツマイモ苗の販売が伸長

花き事業



(単位:百万円)

	15/5月期	16/5月期	増減率
売上高	9,899	10,018	1.2%
営業利益	201	214	6.6%

【セグメント事業内容】

家庭園芸愛好家向けに花苗や花き園芸用品、家庭菜園向けの野菜苗等の販売を行っているほか、営利栽培農家向けに花き種苗を自社開発し販売を行っております。

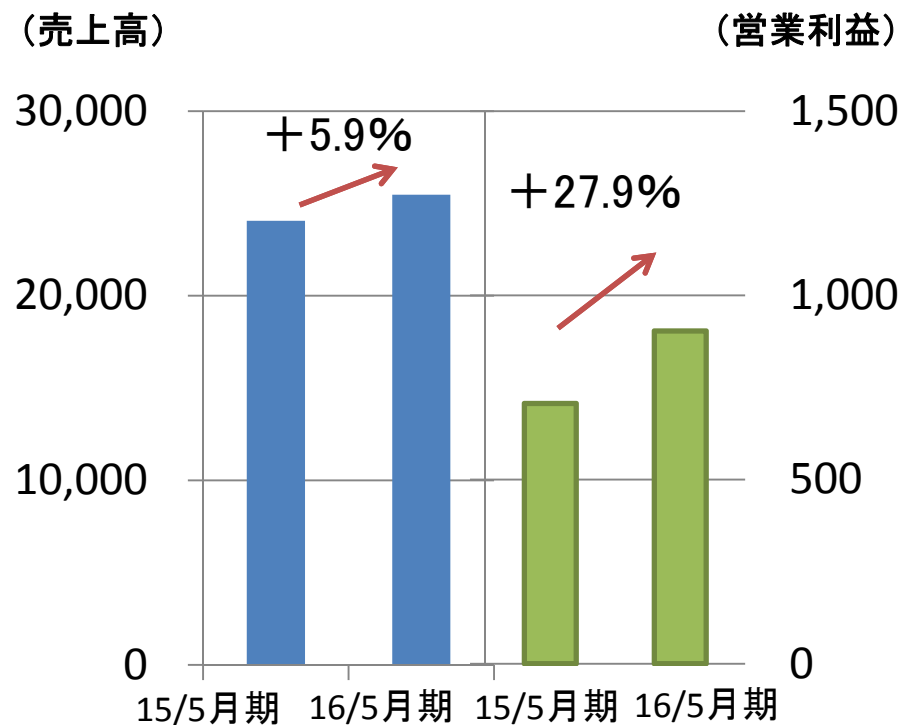
【業績】

売上高100億18百万円
前年同期比1.2%増
営業利益2億14百万円
前年同期比6.6%増

主な増加要因

- ・ 家庭園芸肥料や資材が需要の低迷や価格競争の激化により、売上減となったものの、家庭用除草剤の積極的な営業活動により、販売が伸長
- ・ オリジナル野菜苗の販売が好調

農材事業



(単位:百万円)

	15/5月期	16/5月期	増減率
売上高	24,055	25,476	5.9%
営業利益	706	903	27.9%

【セグメント事業内容】

農薬の販売を中心に被覆肥料等の販売も行っております。

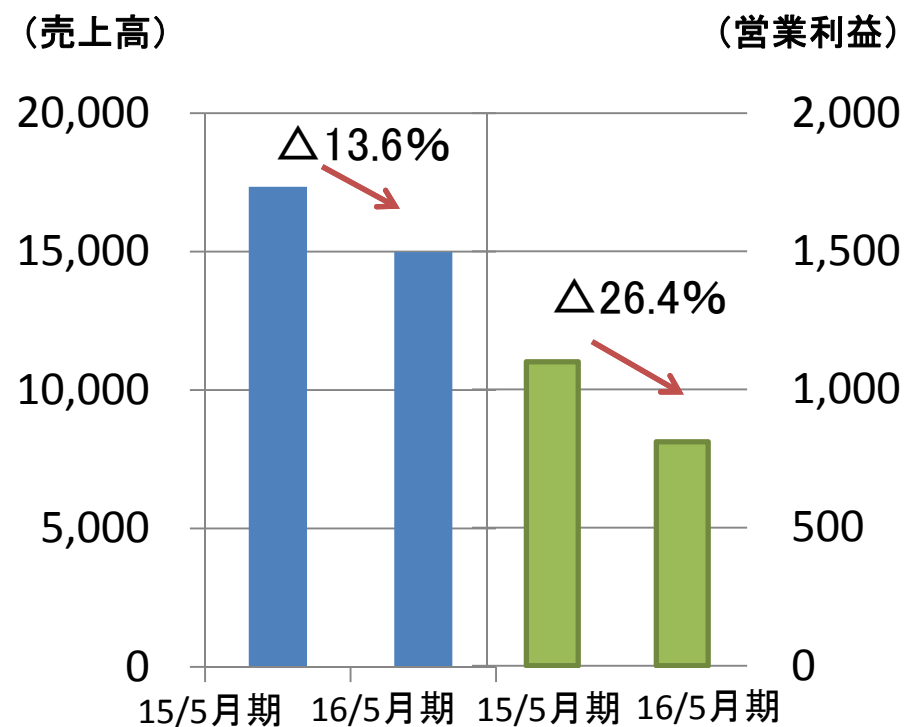
【業績】

売上高254億76百万円
前年同期比5.9%増
営業利益9億3百万円
前年同期比27.9%増

主な増加要因

- ・消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動により農薬の販売が大きく低迷した前期の状況と比べ、今期は常態に回復
- ・オリジナル被覆肥料ベストマッチの販売が大きく伸長

施設材事業



(単位:百万円)

	15/5月期	16/5月期	増減率
売上高	17,342	14,982	△13.6%
営業利益	1,100	810	△26.4%

【セグメント事業内容】

農業資材を仕入れ販売しているほか、当社独自の養液栽培プラント及び温室を設計・施工し、販売しております。

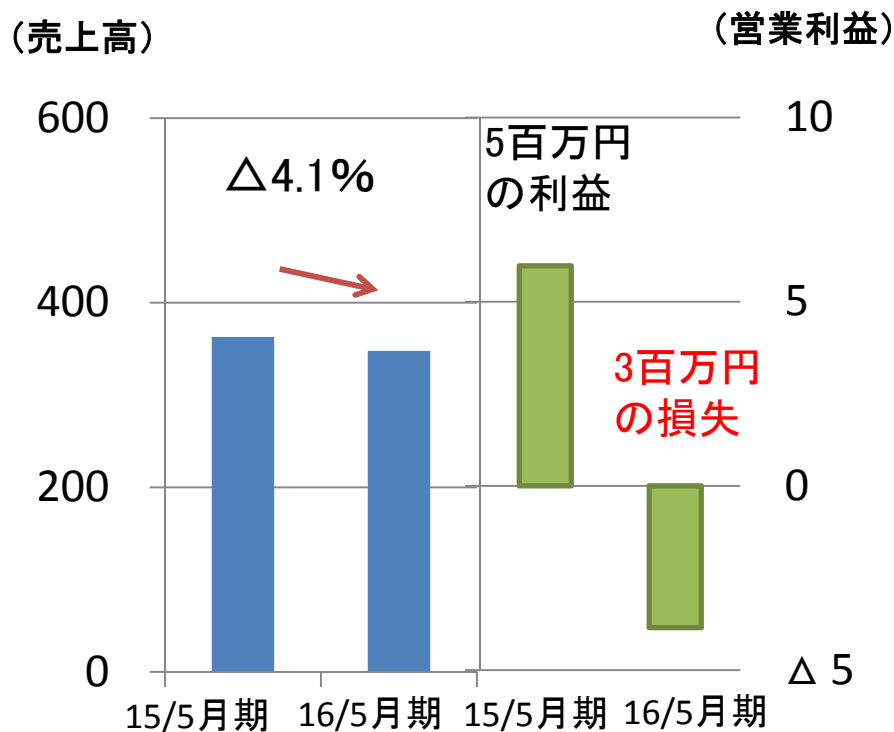
【業績】

売上高は149億82百万円
前年同期比13.6%減
営業利益8億10百万円
前年同期比26.4%減

主な減少要因

平成26年2月の関東地区の大雪で被害を受けた農業用ハウスの復旧事業が第2四半期までにほぼ終息したことによる減収減益

造園事業



(単位:百万円)

	15/5月期	16/5月期	増減率
売上高	362	347	△4.1%
営業利益	5	△3	—

【セグメント事業内容】

主に群馬県内において、造園工事や法面工事を官公庁及び民間から請け負い、設計・施工管理を行っております。

【業績】

売上高は3億47百万円
前年同期比4.1%の減収
営業利益3百万円の損失
前年同期5百万円の利益

主な減少要因

工事需要の低迷による減収減益

2017年5月期見通し

通期連結業績見通し

(単位:百万円)

	15/5月期	16/5月期	増減率 (%)	17/5月期 計画	増減	増減率 (%)
売上高	58,781	58,099	△1.2	58,100	0	0.0
営業利益	2,143	2,144	0.1	2,050	△94	△4.4
経常利益	2,274	2,281	0.3	2,200	△81	△3.6
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,366	1,465	7.2	1,470	4	0.3

売上高	以下の増減要因により、売上高581億円で前年同期比横ばいを見込んでおります。 ・野菜種子関係でキャベツ・カボチャの輸出、国内販売では枝豆・カボチャ・ニンジン・レタスの販売増加に加え、牧草関係で緑肥作物種子の需要増等による売上高の増加 ・農材事業において充実した支店網を活かし、地域特性に合った積極的な提案営業による農薬販売の伸長やオリジナル被覆肥料ベストマッチの普及による売上高の増加 ・業績のかさ上げ要因となった雪害復旧需要が、前期(16/5月期)の第2四半期に収束したことから、施設材事業が常態となることに伴う売上高の減少
営業利益及び 経常利益	施設材事業の採算性の低下などにより、営業利益20億50百万円、経常利益22億円で減益を見込んでおります。
親会社株主に帰属 する当期純利益	法人税率引下げ等を勘案し14億70百万円と横ばいを見込んでおります。

中期計画と経営戦略

中期計画

(単位:百万円)

	16/5月期 実績	17/5月期 計画	18/5月期 計画	19/5月期 計画
売上高	58,099	58,100	59,500	61,000
営業利益	2,144	2,050	2,200	2,350
経常利益	2,281	2,200	2,350	2,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,465	1,470	1,570	1,670

事業環境

国内の状況

人口減少、少子高齢化 → 食料消費の低迷

農家の高齢化 → 離農 → 担い手への農地集約

↓

TPP → 競争力のある農業 → 大規模化、法人化、6次産業化

事業環境

世界の状況

人口増加 → 食料不足

新興国の所得向上 → 高品質食品の需要増

当社の戦略

ハイテクと国際化

農業関連の総合企業

当社の戦略 ハイテク

国内・・・競争力のある農業

野菜種子等の品種開発 → 高収量・高品質

養液栽培プラント
被覆肥料 → 高品質・効率化・省力化

当社の戦略 農業関連総合企業

国内・・・競争力のある農業

農薬・農業資材  高いコスト競争力

当社の戦略 ハイテク

海外

食料不足への対応

野菜種子等の品種開発 → 耐病虫性・高収量

高品質食品への需要増

野菜種子等の品種開発 → 良食味性・高品質

当社の戦略 国際化

種子の海外販売

アジア圏を中心とした人口の多い地域への拡販

種子の海外生産

適当な気象条件  高品質・安定生産

低コスト生産

カネコ種苗株式会社概要

会社名	カネコ種苗株式会社
所在地	群馬県前橋市古市町一丁目50番地12
創立	1947年6月
代表者	金子 昌彦
資本金	14億91百万円(2016年5月末現在)
上場	2016年5月30日 東京証券取引所 市場第一部
発行済株式数	11,772千株(2016年5月末現在)
従業員数	592名(連結対象会社合計 599名) (2016年5月末現在)
グループ会社	4社(連結子会社 2社・非連結子会社 2社) (2016年5月末現在)
問い合わせ先	財務部 専務取締役財務部長 長谷 浩克 E-mail: h-hase@kanekoseeds.jp TEL: 027-251-1619 FAX: 027-290-1056